

【科学研究費助成事業・奨学寄附金の実績一覧】

※令和3年度は9月30日現在の状況

※令和2年度、令和3年度は以下の研究費を受け入れました。

年度	制度名	件数	金額
令和2年度	科学研究費助成事業	9件	3,555,113円
	エリザベス・アーノルド富士財団 学術研究助成金	1件	1,450,000円

年度	制度名	件数	金額
令和3年度	科学研究費助成事業	11件	5,655,000円
	エリザベス・アーノルド富士財団 学術研究助成金	1件	2,500,000円
	公益信託 仲谷鈴代記念栄養改善 活動振興基金	1件	500,000円

【令和2年度 財務状況・事業報告について】

学校法人滝川学園ホームページの財務状況をご覧ください。 <http://www.nagoya-bunri.ac.jp/gakuen/finance.html>

寄附金のお願い

本学は「世界から信頼される若人を育成する」との立学の精神の下、高等教育機関として社会のニーズに応えるべく教育体制を充実させるとともに教育研究施設等の整備に努めております。学生がこれまでと同様の教育研究を享受するために更なる努力が必要です。つきましては、卒業生の方をはじめ幅広く社会各層の方々からの任意によるご寄附を賜りますようお願い申し上げます。

寄附金につきましては、同封の「一般寄附金募集要項」をご覧ください。ご支援賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

また、ご不明な点については下記までお尋ねください。

問い合わせ先 〒492-8520 愛知県稲沢市稲沢町前田365 (名古屋文理大学) 学校法人滝川学園事務局経理課寄附金係TEL0587-23-2400 (代表)

【寄附者ご芳名】 令和元年7月1日～令和3年9月30日の寄附者ご芳名を掲載させていただくとともに、ご芳志に対し厚く御礼申し上げます。

多くの方よりご支援賜り、ありがとうございました。

- 企業・団体 (株)紀伊國屋書店 / (株)竹内刃物製作所 / (株)ナカシマ / 丸善雄松堂 (株) / 名古屋文理大学同窓会 稲友会
- 個人寄附者 犬飼 啓詞 / 加藤ふたば / 木全 陽子 / 後藤 正吉 / 佐藤 生一 / 佐野 和男 / 塩嶋 久美子 / 関 富子 / 武田 基 / 田中 克巳 / 中川なるみ / 野々部 知加 / 平林 陽子 / 森 博 / 吉村 和幸

(敬称略、順不同、公表を了承された方々のみ掲載)

寄附者の顕彰について

個人・団体が10万円以上、法人で50万円以上ご寄附賜りました方は、大学FLOS館の「寄附者銘板」にご芳名を記し、顕彰させていただいております。

なお、ご寄附賜りました寄附金は主に教育環境整備に使わせていただき、特にコロナ禍においては、リモート授業用ZOOMアカウントライセンス取得、ラーニングマネジメントシステム用ストレージの増設、教室棟アルミサッシ網戸の設置等により、リモート授業や感染防止対策に活用させていただきました。多大なるご支援、ご寄附賜り、厚く御礼申し上げます。



キャリア支援センターNEWS

コロナ禍の影響を受け、都道府県をまたぐ移動の制限やオンライン化への対応、景気悪化による募集停止など、就職活動環境の大きな変化によって、全国的に企業側も求職者側も多大な影響を受けました。そのような状況下であっても、学生たちは希望を見失うことなく、自分の将来を掴み取るために果敢にチャレンジを続けて参りました。

キャリア支援センターは時代の変化に柔軟に対応し、教職員一丸となって就職活動をサポートして参ります。今後も皆様のご指導並びにご支援をお願い申し上げます。

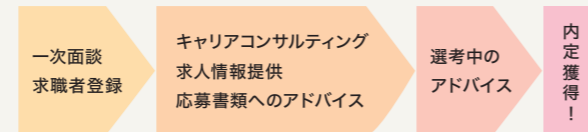
【就職状況】

大学	短期大学部	専門学校
健康栄養学科 <b>97.4%</b>	食物栄養学科 <b>100%</b>	栄養士専攻 <b>100%</b>
フードビジネス学科 <b>98.3%</b>	情報メディア学科 <b>95.6%</b>	製菓専攻 <b>92.9%</b>
		専門学校 栄養士科 <b>100%</b>

【卒業生の就職・転職支援について】

キャリア支援センターでは、卒業後の再就職や転職活動に向けた相談も承っております。皆様が培った専門性を求めている急募求人もあります。ぜひご利用ください。

利用の流れ



卒業生の皆様の勤務先で求人をお考えの際は、まずは皆様の母校キャリア支援センターにお声がけをお願いいたします。

お問い合わせは  
キャリア支援  
センターへ

稲沢キャンパス TEL: 0587-21-2826 (直通) 9:00-17:00  
E-mail: syusyoku@nagoya-bunri.ac.jp  
名古屋キャンパス TEL: 052-521-2254 (直通) 9:00-17:00  
E-mail: nagoyask@nagoya-bunri.ac.jp



NAGOYA

BUNRI News

NAGOYA BUNRI

2021. autumn > winter

私学として晴天を衝く



学校法人 滝川学園 大学・短大  
学校法人 名栄学院 専門学校

理事長 学園長

滝川 嘉彦

学校法人は私立学校法に従って「私立学校の特性にかんがみ、その自主性を重んじ、公共性を高める」という特徴を持って学校運営を行うので「私学」と呼ばれています。具体的な特徴には、極めて高いレベルや、社会の変化を迅速に取り入れたもの、また能力の偏りを補いながら行うもの、長い年月をかけるものなど、様々な形が存在します。

今、日本はこれまでに無いほどの変化を迎えています。コロナ禍による対面の規制、リモートの日常化、産業構造や経済の変化、DX・AIの広がり等々。

私たちは「自由と責任を重んじ、学問を

通して知識技術を磨き、健康を増進し、特に品性を高め、正しい歴史観と人生観を培い、世界から信頼される人を育成する」という立学の精神の基で、「食、栄養、健康、情報」を教育研究の柱とし、「社会の変化を迅速に取り入れた教育研究を行う」という特徴を持って60有余年を歩んで参りました。そしてこれからもこの特徴を生かして変化する社会に貢献し続けたいと思っており、教職員一同は私学として晴天を衝く(前へ上へと進む)所存です。皆様におかれましては、どうか引き続き名古屋文理各校をお支え頂きますよう心よりお願い申し上げます。

大学

健康栄養  
学科

## 臨地実習Ⅱ（病院実習） 報告会

令和3年8月2日（月）、健康栄養学科4年生が令和2年度の臨地実習Ⅱ（病院実習）報告会を行いました。実習施設は、三重大学医学部附属病院、大垣市民病院、社会医療法人大雄会 総合大雄会病院、愛知県厚生連 海南病院などでした。学生は、各実習先でNSTや栄養指導の際の幅広い知識や他職種との連携の重要性などを学びました。また、コミュニケーションの重要性についても改めて実感しました。

令和2年度の臨地実習Ⅰ～Ⅲは、新型コロナウ

イルス感染症の影響がある中、福祉施設・事業所・学校給食施設・病院・保健所・保健センター等合計66施設へ、延べ237名の学生が98グループに分かれて実施することが出来ました。コロナ禍で施設での対応にご多忙の中、本学科の実習生を受け入れ、ご指導いただきました各施設の先生方並びに関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。



NAGOYA BUNRI UNIVERSITY.

短期  
大学部

食物栄養  
学科

## 卒業生の活躍

コロナ禍での卒業生の活躍を紹介します。

まずは佐藤生一前短期大学部長です。初代名誉フードスペシャリスト（全国で13名）の称号を授与され、名誉教授として授業やメディアで活躍されています。2人目は山村浩二准教授です。長年行政、保健所などに勤められ、本年度から専任教員として、「公衆栄養学」「栄養指導論」など担当されています。3人目は櫻井助助教で中部洋菓子コンテストにて金賞を、4人目は柵木嘉和専門学校副校長で厚生労働大臣表彰を受賞されました

（卒業生ではありませんが加藤恵子先生も受賞されました）。そして最後は第35回管理栄養士国家試験の28名の合格者です。2年制養成課程でみると、全国的にもトップクラスの合格者数であったこと大変誇らしく思います。

文理短は64年という伝統のもと、就職先や校外実習を含め、多くの卒業生に支えられています。今後も卒業生の活躍を祈念するとともに、引き続きご支援の程、よろしく願ひ致します。



COLLEGE OF NAGOYA BUNRI UNIVERSITY.

大学

フード  
ビジネス  
学科

## 地域に貢献する 産官学連携活動

フードビジネス学科の学生たちは、コロナ禍においても、地域に貢献する産官学連携活動に積極的に取り組んでいます。生鮮館やまひことのコラボ開発商品「今日の気分はゴマのちきな粉」は、まるごと1本バナナが乗ったホイップクリームたっぷりの一杯です。ユニークなネーミングも学生が考案したものです。

愛知県安城市とは、地産地消の推進を目的とした「ANJO-DON（安城丼）」レシピコンテストを共同開催しています。入賞作品は安城市役所内の

食堂で提供され、市民の皆様にご好評をいただいています。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、花の需要が大幅に下落した昨年は、JA愛知中央会より菊の利活用先を探しているというお話をいただき、「フードコーディネート実習」の授業で器と生花のスタイリングに活用させていただきました。仏花のイメージが強い菊をスタイリッシュなテーブルコーディネート作品に仕上げ、新たな需要発掘に学生たちが取り組みました。



NAGOYA BUNRI UNIVERSITY.

短期  
大学部

食物栄養  
学科

## 学生が学びたいことを 大切にする

本学は令和2年度短期大学認証評価を受審し「適格」と認定されました。認証評価では短期大学の教育研究活動、組織運営、施設設備、財務などの状況を多角的に評価され、日常的に自己点検・評価に取り組めるよう4基準にそった約160の項目について具体的な取り組みをまとめます（本学ウェブサイト情報公開を参照ください）。

今回は特に内部質保証（短期大学が自ら自己点検・評価に基づき改善・改善を自主的・自律的に日常的に図る）、いわゆるPDCAをいかに稼働し

ているか、また「学習成果」を獲得させるための3つの方針について一貫性があり具体化されているかに重点が置かれていました。

前回の受審から7年。教職員協働のもと、様々な取り組みを実践し、特に地域・行政・高校生との連携事業や組織的な学習支援などについて高い評価を得ました。今後も「立学の精神」に基づく「しとねる」（愛をもって育てる）教育をモットーに大学運営に努めていきます。

COLLEGE OF NAGOYA BUNRI UNIVERSITY.



大学

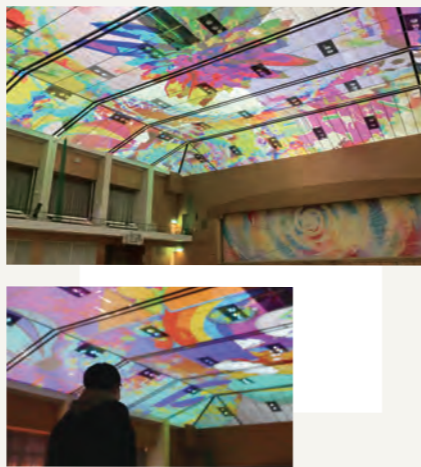
情報  
メディア  
学科

## 情報メディア学科の学生が制作した プロジェクションマッピング作品が 上映されました

2021年2月に、情報メディア学科映像メディアコースの倉知駿さんが制作したプロジェクションマッピング作品「Magic of Reverie（マジック・オブ・レヴェリー）」が稲沢キャンパス瀧川記念体育館にて上映されました。令和元年から倉知さんが中心となって進めてきた本プロジェクトは、新型コロナウイルス感染症の拡大による登校禁止や活動自粛、上映の延期など多くの困難を乗り越え、体育館には迫力のある映像が天井いっぱいに

投影され、サウンド制作コースの学生らが作曲したBGMとともに、参加者に驚きや感動を与える上映会となりました。

今年度も稲沢イルミネーションのイベントとして、12月10～11日に内容を一部更新して再上映される予定となっております。迫力のある映像を是非体感されてみてはいかがでしょうか。「稲沢イルミネーション」で検索してください。



NAGOYA BUNRI UNIVERSITY.

専門  
学校

栄養士科

## 専門学校生が受講する 「給食管理実習」での新しい取り組みについて

専門学校の「給食管理実習」の授業において、新たな取り組みとして、「お弁当献立への展開と調理、提供」に挑戦しました。

コロナ禍で外食の自粛や食事の場での様々な制限に注目が集まっています。給食管理の分野でも今後「お弁当での配膳、提供」の需要が高まることを見越しての挑戦です。

学生たちは「冷めてもおいしい味つけ」や「より厳格な衛生管理」という課題に向き合い、頭を悩ませながら提供に漕ぎ着けました。

この取り組みは専門学校の公式ブログでも公開しています。学生たちの取り組みをぜひご覧ください。

NAGOYA BUNRI NUTRITION COLLEGE.

